

5/19 「これなんですか？」海を越えた交流始まる

中川根第一小学校とオランダの小学校のオンライン交流授業



画面越しに山地さんと笑顔で言葉を交わす児童

中川根第一小学校で、2・3年生の児童13名がオランダの教員養成学校に通う山地芽衣さんとオンラインで交流しました。

この交流授業は、山地さんと親交がある同小学校教諭の濱大輔さんの呼びかけで実現。山地さんが現地の学校で撮影した写真が教室に並べられると、児童たちは「この場所はどこですか」や「この人は何をしていますか」などと画面越しに質問をしていました。

児童を指導した濱さんは「現地の学校との違いや魅力に興味を持ち、質問を通して表現する楽しさを知ってほしい」と期待を込めて話しました。

町内から志がある若い力を 5/27

令和4年度自衛官募集相談員委嘱式が行われました

川根本町役場で自衛官募集相談員委嘱式が行われました。同相談員は自衛隊静岡地方協力本部長の武田恭一氏と藺田靖邦町長の連名による委嘱のもと、任期2年で自衛官などを募集するための環境づくりや情報提供、活動支援の役割を担います。

この度、花房則告さん（久保尾区）が委嘱され、花房さんは「自衛官を志す方の背中を押せるように、コロナ禍に合わせた募集をしていきたい」と話しました。

藺田町長は「災害時には自衛隊の方たちには尽力いただいている。もっと自衛隊の重要性を広めてほしい」と激励しました。



藺田町長と武田本部長(右)から激励された花房さん(中央)

6/3 旭日単光章を竹野達三さんが受章

静岡県知事から伝達 竹野達三さん旭日単光章を受章



伝達式会場で川勝知事と笑顔を向ける竹野さん(右)

旧本川根町議会議員の竹野達三さん（崎平区）が旭日単光章を受章し、静岡県庁で川勝静岡県知事から伝達されました。

竹野さんは、平成5年から平成17年までの3期12年にわたり、町議会議員として、町づくりへの強い信念と実行力、決断力をもって町の振興発展の尽力され、その間、平成13年から平成15年の2年間は、町議会議長を務め、円滑な議会運営にも大きな功績を残されました。

受章を前に竹野さんは「周囲の方たちの支えがあって議員として活動できた。今まで支えていただいた方々に心から感謝しています」と笑顔で話しました。

もうすぐ夏がやってくるね♪ 6/6

町立保育園(三ツ星保育園・桜保育園)と私立徳山聖母保育園合同で行われました

本川根B&G海洋センターの屋内プールで、町内の保育園に通う年中・年長児を対象にしたアクアリズム（幼児水中運動）が行われました。

アクアリズムは、幼少期からの身体機能の向上を目指し、楽しみながら自然に泳げるようになることを目的としています。

この日、園児たちは、海洋センター職員の指導の下、大プールでビート板を使って泳いだり、小プールでカラーボールを使った水中運動に取り組みました。

最初は水に顔をつけることを怖がっていた園児たちも、少しずつ水に慣れていき、元気いっぱいに遊んでいました。



大きなビート板を使って大プールでバタ足練習

6/7 大きくなって帰って来いよ~!!

中川根南部小学校でアマゴの放流体験



大井川にアマゴの稚魚を放流する児童たち

中川根南部小学校の全学年の児童46名が同校前の大井川でアマゴの稚魚の放流を行いました。

今回の体験学習で用意されたアマゴは約1,000匹で、坂本政司さん（久野脇区）主催で行われました。坂本さんは、生態系の維持や生き物の住みやすい環境づくりの大切さについて説明し、この体験を通して子どもたちにもっと川と親しんでもらいたいと語りました。

子どもたちは、一人ずつ稚魚を受け取ると、「大きくなってまた帰ってこいよ~!!」と言葉を掛けながら元気よくバケツを反していました。

おいしいお米が実りますように! 6/9

本川根小学校の5年生が田植えを体験しました

エコティかわねが主催した田植えが、地名地区で行われ、本川根小学校5年生9名が体験しました。

児童たちは中澤莊也さん（地名区）の指導の下、水をはった田んぼに入り、泥んこになりながら一生懸命苗を植えていきました。

この日、ほとんどの児童が田植えは初体験で、少し緊張気味の様子。泥の中に慎重に足を入れると「冷たくて気持ちいい!」「歩きにくい…」と歓声を上げていました。

衣服を泥まみれにした滝浪瑠希菜さん（大間区）は「田植えは初めてだったけど楽しかった」と笑顔で話しました。



「あいちのかおり」の苗を植えていく児童たち